

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

問題番号	Ⅲ-1
------	-----

← 解答する問題番号（1又は2）を点線の枠内に必ず記入すること。  
○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1 . 多 面 的 な 課 題 と そ の 観 点																								
( 1 ) い か に 個 性 豊 か な 都 市 に 再 構 築 す る か																								
<p>昨 今 、 急 速 に 発 展 す る ア ジ ア 諸 国 の 都 市 と 比 較 し 、          我 が 国 に お け る 都 市 の 求 心 力 は 低 下 し つ つ あ る 。 世 界          か ら 選 ば れ る 国 と す る た め に 、 固 有 の 自 然 と 文 化 を 活          か し た 都 市 づ く り が 求 め ら れ て い る 。 さ ら に 、 都 市 間          を シ ー ム レ ス に 連 結 し 、 成 長 産 業 を 全 国 に 分 散 立 地 さ          せ る 必 要 が あ る 。 よ っ て 、 構 造 転 換 の 観 点 か ら 、 個 性          豊 か な 都 市 へ の 再 構 築 が 課 題 で あ る 。</p>																								
( 2 ) い か に 強 韌 な 物 流 ネ ッ ト ワ ー ク を 整 備 す る か																								
<p>近 年 の 自 然 災 害 は 、 激 甚 化 ・ 頻 発 化 し て い る 。 こ の          災 害 に よ り 物 流 が 寸 断 し 、 国 民 生 活 へ の 影 響 や 経 済 活          動 の 停 滞 が 生 じ て い る 。 我 が 国 の 産 業 を 強 化 す る た め          に は 、 災 害 に 対 応 し た サ プ ラ イ チ ェ ー ン の 構 築 が 不 可          欠 で あ る 。 よ っ て 、 防 災 面 の 観 点 か ら 、 強 韌 な 物 流 ネ          ッ ト ワ ー ク の 整 備 が 課 題 で あ る 。</p>																								
( 3 ) い か に 地 方 誘 客 を 促 す 観 光 地 を つ く る か																								
<p>円 安 傾 向 が 続 く 中 、 訪 日 外 国 人 は コ ロ ナ 禍 以 降 増 加          の 一 途 を た ど っ て い る 。 し か し 、 宿 泊 数 の 約 7 割 が 三          大 都 市 圏 に 集 中 し て お り 、 消 費 額 も 同 様 の 偏 在 傾 向 を          示 し て い る 。 更 な る 消 費 の 拡 大 を 図 る た め に は 、 地 方          都 市 の ポ テ ン シ ャ ル を 引 き 出 し 、 イ ン バ ウ ン ド 需 要 の          平 準 化 が 必 要 で あ る 。 よ っ て 、 経 済 性 の 観 点 か ら 、 地          方 誘 客 を 促 す 観 光 地 づ く り が 課 題 で あ る 。</p>																								
2 . 最 も 重 要 な 課 題 と 解 決 策																								

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。

24 字×25 字

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

個	性	豊	か	な	国	土	は	、	国	際	競	争	力	の	み	な	ら	ず	国	民	生	活		
の	基	礎	を	形	成	す	る	。	よ	っ	て	、	「	い	か	に	個	性	豊	か	な	都		
市	に	再	構	築	す	る	か	」	を	最	も	重	要	な	課	題	に	選	定	し	、	以	下	
に	解	決	策	を	述	べ	る	。																
(	1	)	経	済	圏	の	連	結	強	化														
①	コ	ン	パ	ク	ト	+	ネ	ッ	ト	ワ	ー	ク												
都	市	の	コ	ン	パ	ク	ト	化	と	公	共	交	通	ネ	ッ	ト	ワ	ー	ク	の	再	構	築	
を	行	い	、	集	積	の	好	循	環	に	よ	り	新	た	な	価	値	を	生	み	出	し	成	
長	を	促	す	。	具	体	的	に	は	、	立	地	適	正	化	計	画	を	策	定	し	た	上	
で	都	市	機	能	誘	導	区	域	を	設	定	し	、	都	市	機	能	の	集	積	を	図	る	
。	併	せ	て	、	地	域	公	共	交	通	計	画	を	策	定	し	、	集	積	さ	れ	た	都	
市	機	能	を	結	ぶ	よ	う	に	公	共	交	通	ネ	ッ	ト	ワ	ー	ク	を	再	構	築	す	
る	。	こ	の	都	市	構	造	に	よ	り	、	地	域	内	の	経	済	循	環	を	よ	り	高	
め	、	地	域	産	業	の	効	率	性	・	生	産	性	・	持	続	性	の	向	上	を	図	る	
な	ど	、	地	域	産	業	の	稼	ぐ	力	を	向	上	さ	せ	る	。							
②	日	本	中	央	回	廊	の	形	成															
産	業	が	集	積	す	る	三	大	都	市	圏	を	連	結	す	る	た	め	、	日	本	中	央	
回	廊	を	形	成	す	る	。	具	体	的	に	は	、	各	都	市	圏	を	リ	ニ	ア	中	央	
新	幹	線	で	連	結	し	、	約	1	時	間	で	往	来	で	き	る	よ	う	に	す	る	。	
併	せ	て	、	高	規	格	道	路	ネ	ッ	ト	ワ	ー	ク	の	構	築	に	よ	り	、	1	時	
間	圏	の	中	に	、	多	様	な	自	然	や	文	化	を	有	す	る	地	域	を	内	包	す	
る	経	済	集	積	圏	域	を	形	成	す	る	。	こ	の	よ	う	な	に	、	各	圏	域	の	
つ	な	が	り	を	強	化	す	る	こ	と	で	、	圏	域	を	超	え	た	人	流	や	企	業	
の	取	引	、	物	流	の	拡	大	・	強	化	を	促	し	、	ヒ	ト	・	モ	ノ	・	カ	ネ	
・	情	報	を	惹	き	つ	け	る	都	市	を	実	現	す	る	。								

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

<u>( 2 ) 連携体制の構築</u>																								
官民連携まちなか再生推進事業により、交流拠点整備を推進する。整備にあたっては、地域の関係者で構成するエリアプラットフォームを設置し、未来ビジョンを策定した上で取り組む。例えば、未来ビジョンに基づく国際競争力強化施設の整備に合わせ、官民協働により、車道の一部広場化や店舗軒先のオープンスペース化など、ゆとりのある歩行者空間や、歩道と一体になった居心地の良い空間の創出を図る。エリアプラットフォームを通じてこれらの取り組みを推進することとで、都市に多様な人材や投資を呼び込む。																								
<u>( 3 ) 都市経営の効率化</u>																								
効率的な都市経営を行うため、様々なサービスが連携できる都市OSを整備する。例えば、観光地を効率的に回遊する自動走行車両を導入し、通常の観光動線に加え、製造業のものづくり体験も加え、産業の壁を越えてMaaSによるものづくりツーリズムを実現する。このように、都市OSは横断的な取り組みを容易にし、最先端サービスの提供を可能にする。																								
<u>3. 新たなリスクと対応策</u>																								
都市再生の推進に伴い、生活利便性が向上する都市部へ人口が流入し、地方の衰退が深刻化するリスクがある。対応策として、都市再生と平行して二地域居住を推進する。テレワーク拠点やサテライトオフィスの整備を進め、平衡した国土形成を図る。以上																								